プリンセス

小公女セーラ

第5話

『泣き虫ロッティ』

AR台本

企画
制作　日本アニメーション株式会社

プリンセス

小公女セーラ

第五話　『泣き虫ロッテイ』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン先生……中西妙子
アメリア…………梨羽由起子
ピーター…………坂本千夏
ラヴィニア………山田栄子
ロッテイ…………渡辺菜生子
ジェシー…………中野聖子

ガートルート……佐々木るん
ジェームス……郷里大輔
モーリー……向殿あさみ
生徒A……
生徒B……
婦人A……
婦人B……
警官……
馭者……

カメラ	画面		音声
1	外套姿のセーラ　ミンチン女学院の玄関近くに立っている 冬の朝 駈けよるジェシーとガートルートたち		ジェシー(off)「素敵なコートね」 ガートルート「触らせてェ」
2	セーラを囲む生徒たち 一、二歩近づき、ヒステリックに叱ぶラヴィニア		生徒Ａ「わァ、フヮフヮ……！」 生徒Ｂ「ねッねぇ、何の毛皮?!」 生徒Ｃ「高そう」 ラヴィニア「みんな並んでってば！ 〜
3	怒るラヴィニア		叱られるのは、私なんだから！　まったく、もう……」
4	玄関の階段を眠そうな顔で、ひとつづつ降りてくるロッティ		
5	気付いたラヴィニア、ロッティの方へ二歩ばかり駈ける		
6	二段目をよっこらしょと降りる		ラヴィニア「なにしてんのよ、ロッティ！　早

No.	画面		セリフ
	ロッティ　Fr・inするラヴィニア いきなり腕をつかんで引きたてる　ロッティ、ひきづられて悲鳴をあげる……		く並びなさいよ！」 ロッティ「だってまだ眠いもん」 ラヴィニア「ぐずぐずしないで」 ロッティ「あっ、わ！　や、やめて (off)　ラヴィニア」
7	「はっ」と顔上げるセーラ 傍のアーメンガード		
8	ラヴィニア、ロッティの手をひっぱって、振りまわすように前へ出して手を離す 前へつんのめって転ぶロッティ		ロッティ「うわッ」
9	駆け出すセーラ		ロッティ(off)「痛いよっ!!」 ロッティ「えーん、えーん、うれーん」 セーラ「大丈夫、ロッティ?」 ロッティ「うわーん……痛いよォえーん」 セーラ「大丈夫大丈夫、怪我はないわ」 ロッティ「わーん！」
10	セーラ、駆けよって抱き起こし怪我の有無を確かめて ロッティ、コートの汚れを払ってやる		
11	きっと顔上げて、ラヴィニアを見る		セーラ「ラヴィニア！……ひどいわ、こんな小さな子をいじめるなんて……」

12	ジロリと見返すラヴィニア	ラヴィニア「セーラ……あなた、私のする事に口を出す気？」
13	セーラ、ラヴィニアをニランだまま	セーラ「だって、ロッティはまだ四つよ」
14	ラヴィニア、セーラに対して意地悪く言う	ラヴィニア「四つだからどうだって云うの」
15	セーラ、話を続けて	セーラ「来年は五つになるし……さ来年は六つになるわ、そして十六年たったら二十才になるわ」
16	ガートルート、アーメンガードジェシー、二人の様子を見守る	(off) （ロッティ泣き止む）
17	冷笑するラヴィニア、皮肉っぽく	ラヴィニア「まあ……計算がお上手だこと」
18	セーラ、首を振って	セーラ「ロッティだって、今に物判りの良い子になれるってことよ」
19	一瞬、じっとロッティを見つめていたが、冷笑を浮べ	ラヴィニア「そんなこと、どうでもいいわ」

20	見つめるセーラ 話を続けるラヴィニア		ラヴィニア(off)「それより、憶えておいて欲しいことがあるわ……」
21	ラヴィニア、セーラを見下ろしながら		ラヴィニア「私はね、この子達がグズグズしてたら、注意したり監督したりするように院長先生に言われてるのよ」
22	ラヴィニア、きっぱりと言い切る		
23	ジェシーを同意して口をはさむ		ジェシー「そうよ、ラヴィニアがこの学校の代表生徒だってこと忘れないで」 ガートルート「ラヴィニアに口答えするなんて〜〜〜生意気よねえ」
24	ジェシーとガートルート、セーラを見下ろして		
25	ラヴィニアを見つめるセーラ 前後をキョロキョロ見て、その場のムードに怯れるロッティ		
26	玄関口に現れるミンチン先生		S・E （ガチャ）
27	ジェシー顔上げて、続いてガートルートも		ジェシー「あっ、院長先生よ！」

28	ミンチン先生につづいて、アメリア扉閉める ラヴィニア、皆の方を向いて		S・E（ガチャ） ラヴィニア「さっ、早く列へ……」
29	並らぶ生徒達を見つめているミンチン先生の後姿		
31	セーラ、ロッティを先頭に並ばせて、後へ駆ける 列に駆けこむセーラ アーメンガード、奥へ場所を譲る		
32	玄関前で列を見渡すミンチン先生		ミンチン先生「ラヴィニア……全員揃いましたね」
33	ミンチン先生、前へ向って歩きながら		ラヴィニア「はい、院長先生……」 ミンチン先生「では、出発させなさい」
34	ラヴィニア返事をして、振り返り皆に伝える ロッティに確認するようにして		ラヴィニア「はい、院長先生……では出発しまァす…… グズグズしちゃァ駄目よ、

35	進む生徒達 身をすくめるロッティ 歩きはじめるロッティ	(off) (声をひそめて)いいわね、ロッティ……」 ロッティ「……」
36A	ミンチン先生、アメリアの見る前を通るラヴィニア、ロッティたち　幼年組の後をセーラ、アーメンガード、ガートルート、アジェシー達が続き、その後について随伴するミンチン先生と、アメリア	
36B	歩く生徒達	
38	セント・ポール大寺院	
39	石畳に群がる鳩 バタバタ飛び立つ鳩　ラヴィニアを先頭に一行が通る	
40	振り返る婦人達	婦人A「ほら、ミンチン女学院の生徒さん達よ」

41	ラヴィニアを先頭に一行が来る		婦人B(off)「お上品ねえ……流石お嬢様学校」 婦人A(off)「見て、あのお嬢さん……なんて可愛いくて気品があるんでしょう」 婦人B(off)「ほんとに……まるでどこかの国のプリンセス様みたい」
42	りりしいセーラ →FOLLOW		
43	セーラ、通り過ぎ 列後部に続くミンチン先生とアメリア、得意気に、婦人たちに会釈して通りすぎる		
44	入口に向って歩いて行く一行 PAN・UPすると、聖ポール寺院の大聖堂		
45	台所のドアを開けて入ってくる		ピーター「お早うございます、お湯を一杯ください」
46	↓コックのジェームスとメイド頭のモーリーが料理の支度をしている ←PAN C－PAN		ピーター(off)「うわあ、いい匂いだな」
47	ピーター、お湯の入ったカップを持って		ピーター「今日のお昼はなんだい?」

48	ジロリ、ピーターを振り返って 顔を戻して再び料理に専念する		ジェームス「お前のは、そこにあるジャガイモ だ」
49	ピーター、あらたまってジェー ムスにたずねる 仕度をしながら答えるジェーム ス		ピーター「ボクのじゃないよ、セーラお嬢様の お食事さァ」 ジェームス「スコッチ風羊肉のスープに、キド ニーパイだ」
51	ピーター、カップをおき、手前 へ歩き出す		ピーター「へえー、そいつあ豪勢だなあ」
52	モーリー、鍋をかきまわしなが ら		モーリー「セーラお嬢様が見えてから、食事を 張りこむように、 院長先生に云われてるのさ」 (off) ピーター「なあるほどねえ」
53	ピーター、感心しつつ大鍋に近 寄る 二人の様子をそれとなくうかが っておたまをとりなめる		ピーター「えへッ！」
54	もっともらしく味見してみて、 思わずため息まじりにうなづく		ピーター「フーム……うん、うん」
55	振り返るジェームス		

56	怒鳴るジェームス ピーター「はっ」として、ジェームスの方を見る		ジェームス「こらー！　なにする!!」
57	おたまを鍋に戻し、素早くとび退る　あとはジリジリ後退		ピーター「いやいや、お嬢様のお食事のホンのお味見なんですよ」
58	こぶしを振り挙げて、ピーターに迫るジェームス		ジェームス「このおーッ！」
59	壁にへばりつくピーター、素早くドアの方を見た後、調理中のフライパンの方を見て「エッ?!」と振り返るジェームス　その隙にドアの方に駆けるピーター		ピーター「ああッ！　あれッ！　折角の御馳走が焦げてますよッ」
60	立ち昇る煙り（黒い） ジェームス、フライパンの方を見て「あっ」となる		
61	ドアからとび出すピーター		S・E　（ガチャ） S・E　（ガチャ）

62	ジェームス、フライパンに駆け寄る		ジェームス「すばしっこい小僧め……」
63	学院前に到着した一行		
64	玄関前に立っているミンチン先生とアメリア　ミンチン先生はそのまま建物の中へ入る 残ったアメリア ドアに向うアメリア		アメリア「では皆さん、手を洗ってお食事ですよ」 一同(off)「わーっ」 ←　(こぼす)
65	ノロマなアーメンガードに、歩調をあわせるセーラを、小走りに追い越す生徒たち		(※セーラ、ラヴィニアは言わない) 生徒達「うわ——い」
66	立ち止るセーラとアーメンガード		
67	グズグズしているロッティの、後姿		
68	しぶしぶ階段を昇るロッティ		

69	しばらく見ていて、顔見合わせるセーラとアーメンガード 前へ歩きはじめるセーラ、続いてアーメンガード		
70	よっこらしょと最後の階段を、昇るロッティ　追越すセーラ、アーメンガード		
71	ドアを開けて待っているセーラ アーメンガード　うつむいたまま入って行くロッティ 続いてアーメンガードとセーラ		S・E　（バタン）
72	地下の食堂　ゆっくり見廻るミンチン先生と立っているアメリア　礼儀正しく食事している生徒達		
73	セーラ、特別食を食べる（キドニィパイ、にんじん、ジャガイモのつけ合せ）		

74	ラヴィニアの横を通るミンチン先生		
75	ミンチン先生、ふと立ち止る		ミンチン先生「アーメンガード……」
76	慌てて姿勢を起こすアーメンガード		ミンチン先生(off)「もっと姿勢を正して……、テーブルの上にかがみこんで食べてはいけません」
77	チラリと見て薄笑いの視線を交わすラヴィニア、ジェシー、ガートルート　その時、背後の金属音にふり返る		S・E(off)「ガチャガチャ」
78	「キッ」と振り返るミンチン先生		
79	ナイフとフォークを弄んでいるロッティ		
80	ミンチン先生、ロッティを見つめてゆっくりと言う		ミンチン先生「ロ～～～・ッ・テ・ィ……」

81	心配そうなセーラ		S・E（ガチャガチャ）
82	なおも続けるロッティ		
83	心配そうなアーメンガード　ロッティの方からミンチン先生の顔色を伺う		ミンチン先生(off)「ロッティ…… ナイフやフォークを玩具にしては、いけません！」
84	ミンチン先生、ロッティに近づき、たしなめるように告げる		
85	半泣きの上眼づかいのロッティ だだをこねる		ロッティ「だ、だって……」
86	T・U　ミンチン先生、ロッティをたしなめて		ミンチン先生「何が、だって、です！」
87	ロッティ、ナイフとフォークで皿を押しやる		ロッティ「だって……食べたくないもン……」
88	「カッ」となってロッティに近づくミンチン先生		ミンチン先生「なんですって!!」
89	ナイフとフォークをほうり出し		ロッティ「うわーん……」

	て泣き出すロッティ		（泣き声）
90	ミンチン先生、素早くロッティに近づいて		ミンチン先生「まあ……あんたって子は、また泣いてすまそうって云うんですね」
91	ラヴィニア達ロッティから顔を戻して、顔を見合せて首をすくめる		ミンチン先生(off)「よろしい、食べたくないなら 〜
92	心配そうなセーラ		(off) 食べなくって結構、あんたのような子は」
93	アメリア、心配そうに近づきおずおずと言う ミンチン先生、ロッティの腕をつかんで、椅子から引き立てる		ミンチン先生「外へ出てらっしゃい」 アメリア「お姉様……」 ミンチン先生「いいえ、こう云う子は厳しく躾ないとクセになります、さ、出なさい」
94	「はっ」！となるアーメンガード		ロッティ(off)「（泣き声、一層大きくなる）」
95	ドアに向って引き立てるミンチン先生		
96	心配気に見送るセーラ		

97	ドアが開きミンチン先生が、ロッティを放り出すとバタンとドアを閉める		S・E（ガチャ） S・E（バタン）
98	しゃくりあげるロッティ　歩きはじめる		
99	嗚咽しながら、階段に向うロッティ　台所のドア開きモーリーが出て来る		ロッティ「おうちへ帰りたいよう、うっ……、うっ……」
100	モーリーがドアからのぞく		ロッティ(off)「おうちへ……帰りたいよォ」
101	ドアから出てロッティの立ち去った方を見るモーリー		
102	思案するモーリー		
103	あわてて台所へとって返すモーリー		S・E（だんだん小さくなっていく） （バタン）
104	台所の中でジェームスと相談するモーリー		

105	食堂　振り返るミンチン先生		モーリー(off)「院長先生！」
106	ミンチン先生、モーリーのいる 入口の方へ近づき 何事かをミンチン先生に囁く モーリー		モーリー「ちょっと、お耳に入れておいた方が よろしいかと」
107	驚くミンチン先生		ミンチン先生「なんですって、ロッティが?!」
108	「はっ」と振り返るセーラ		モーリー(off)「は、はい」
109	アメリアFr・in ミンチン先生、アメリア急いで 出て行く、続くモーリー		モーリー「うちへ帰りたいとか……」 ミンチン先生「アメリア！」 アメリア「はい」
110A	心配そうに見送って、立ち上る セーラ		
110B	こそこそと外に出て行くアメリ ア、ミンチン先生、モーリー		

111	二階　廊下　急ぎ足のミンチン先生とアメリアそしてモーリーが続く		
112	ロッティの部屋の前で立ち止り　ドアのノブに手をかけるミンチン先生		S・E　（ガチャ）
114	扉開いて入ってくる三人 アメリア、中へ来て見る 振り返りミンチン先生を見る		S・E　（ガチャ）
115	階段のところで様子を見守るセーラ、ガートルート、ジェシー達		
116	部屋から出て来るミンチン先生たち		アメリア「矢っ張り、ロッティは表へ……」 ミンチン先生「手分けして探すんです！」
117	階段に向うモーリー、アメリア 後からミンチン先生続く		アメリア「はい」
118	「ぱっ」と逃げるガートルート		ミンチン先生「何をしてるんです、あなた方は

	たち　ジェシー、ジェニファー (on)		戻っていなさい！」 女の子達「うわ――っ」
119	セーラー、ミンチン先生に声をかける		セーラー「院長先生」
120	身を乗り出すセーラ		セーラ「私にもロッティを探させて下さい」
121	ミンチン先生驚いて		ミンチン先生「なんですって？」
122	セーラ、真剣に意向を伝える		セーラ「私、ロッティの事が心配なんです… あの子を探してあげたいんです」
123	ミンチン先生凝っとセーラを見て		ミンチン先生「……そう……あなたには、馬車がありましたね」
124	セーラ、キョトンとして ミンチン先生、下手を向いて歩きはじめる		セーラ「は？」 ミンチン先生「許します……但し、一時間後には必ず報せに戻って
125	ミンチン先生、足早に階段を降りて行く　見送ったセーラ、急いで三階へ行く		(off)　いらっしゃい」 セーラ「はい、院長先生」

126	馬車置場の外　ピーターが手桶の水でポニーを洗っている セーラが駆けて来る 顔上げるピーター		セーラ「ピーター……！」 ピーター「やあ、お嬢様」
	A・C		
128	セーラ、ピーターに事情を説明して　ピーター驚く セーラ、真顔でピーターに頼む		セーラ「大変、ロッティがいなくなったのよ」 ピーター「なんですって」 セーラ「お願い、一緒に馬車で探して」
130	ピーター、合点承知して		ピーター「判りましたお嬢様」
131	表　扉開ぐっている 走り出るポニーの馬車		
132	道　走り抜ける馬車		
133	急ぐ馬車		
134	身を乗り出すように、左右の道際を探すセーラ　←FOLLOW		
135	セーラの見た目　T・U　街並み		

136	←街並み　ロッティは居ない		
137	左右を探すセーラ　「はッ！」 となる　←FOLLOW		
138	行手に小さい子が歩いている QUICK　T・U		
139	ピーターに声かけるセーラ		セーラ　「あそこ！」
140	馬車のスピードおとして、子供 に近づく　子供にT・U		
141	子供を見るセーラ 馬車、スピードを落して停りかける		
142	こちらを見る子供　ロッティで はない　母親、子供に近づく		
143	馬車　静止している 二人、顔見合わせてがっかりする　再びスタートする		

144	不審そうにセーラを見ている子供と母親		
145	進む馬車		
146	子供連れの親が遠去かる T・B　セーラの見た目		
147	走る馬の足　←FOLLOW		
148	→FOLLOW　ダブルデッカーが通る		
149	走る車輪　↖FOLLOW		
150	道の両側を見るセーラ ←FOLLOW		
151	駆ける馬車		
152	馬をあやつるピーター ←FOLLOW		

153	←FOLLOW　焦るセーラ、左右を見る		
154	T・U　街並みと人々		
155	セーラ、ピーターに頼む 承知するピーター		セーラ　「ピーター、お願い、駅の方へ行ってみて！」 ピーター「判りましたお嬢様」
156	駅前のにぎわい　ピーターの馬車が入ってくる		S・E　（汽車の音と汽笛）
157A	セーラが飛び降りる　続いてピーター		
157B	セーラとピーター走って来て立ち止まる　出て行く列車		
158	あたりを見廻す二人、何者かを見つけて駆け出す		
159	制服警官に駆け寄る二人		

160	セーラ、警官にたずねる		セーラ「あの、ここへ、
161	セーラ、説明して 警官聞き返して		～四っ位の女の子が来なかったでしょうか？」 警官「女の子？」
162	ピーターも説明しようとするが名前を思い出せない セーラ、きちんと答えて		ピーター「ええ、名前はええと……」 セーラ「ロッティと云うんです」
163	警官、少し考えてから答える		警官「さあて、本官はずっとここに立っておったが、その様な子供は、
164	茫然と顔見合わせる二人		ⓞff 見かけんかったね」
165	心配そうなセーラ		
166	院長室　画面の手前を行きつつ、戻りつしているミンチン先生 その向うにアメリア ふと足を停めるミンチン先生		アメリア「あの子の足で、そう遠くへ行ける筈がないと、あちこち探したのですけどとうとう何処にも……申訳けございません」

167	ミンチン先生、振り返ってたずねる		ミンチン先生「あの子の親許は確か、ポーツマスでしたね」
168	「はっ」となるアメリア 馬車の音に気づく		アメリア「矢張り汽車に潜り込んで」 S・E（馬車の音）
169	窓に近寄り表を見るミンチン先生 続いてアメリアも		アメリア「あ、セーラさんですね」
170	停るポニーの馬車		
171	がっくりとうなだれる二人、気をとり直して 降りようとして毛布を取り上げ右横に置こうとするセーラ		セーラ「ありがと、ピーター」
	A・C		
172	毛布降ろそうとして―「はっ」と顔を上げ、前方を見る		
173	木陰からロッティの足が見える		
174	セーラ、叫びざま　馬車から飛		セーラ「ロッティ……！」

	び降りて公園に向って走る ピーター驚いて、とっさに 飛び降りる		ピーター「お嬢様！」
176	道を横切るセーラ		
177	走ってくる馬車		
178	走るセーラ　馬車に驚いて立ち すくむ　T・U		セーラ「あっ！」
179	馬車を止めようとする馭者		馭　者「ごおーっ!!」
180	竿立ちになり、前肢をあがく馬 ピーター、後からセーラをかば うようにして避ける		S・E　（馬のいななき、ヒヒ〜〜〜〜ン）
181	窓外を見たミンチン先生とアメ リア、驚く		ミンチン先生・アメリア「あっ！」
182	走り抜ける馬車 セーラを助け起こすピーター		

183	セーラ、ショックからたち直って、公園に向って駆け出す　後を追うピーター		
184	窓外を見ていたミンチン先生達顔見合わせてドアの方へ向う		
185	公園内　駆けこんで来たセーラとピーター、立尽す		
186	木の根方でロッティが泣きじゃくっている		ロッティ「ヒック……ヒクッ……」
187	顔見合わせたセーラとピーターセーラ、そっと近づきのぞきこみ優しく声をかける		セーラ「ロッティ……」
188	身体を丸め寒そうにしてセーラを見上げる　泣きはらした眼のロッティ		
189	セーラ、優しく微笑んで		セーラ「さ、みんなが心配しているわ、学校へ帰りましょう」

190	ロッティ、イヤイヤをしながら激しく泣き出す	ロッティ「ウエーン」
191	セーラ、しゃがみこんで手をさしのべ、ロッティをなだめる	セーラ「ねッロッティ」 ロッティ「いやらァ……あんなとこかゆンの…」
192	イヤイヤするロッティ、泣きじゃくって セーラ、上着を脱ごうとして	ロッティ「おうちへかえりたいよォ……」
193	急ぎ足で近づいてくるミンチン先生とアメリア	
194	セーラ、自分のコートでロッティを包みながら…… ロッティ、泣きやみ鳴咽のみ ミンチン先生たち来る 「ハッ」とするロッテイ、セーラ	セーラ「とに角、学校へ戻って暖まらないとね」 ロッティ「ヒック……ヒック……」
195	ミンチン先生、ロッティを見下ろして	ミンチン先生「まあ……ずっとこんな所に隠れていたのね、人騒がせをして……」
196	ミンチン先生を見たロッティ、	

	更に激しく泣き出す		ロッティ「ウエーン」
197	ミンチン先生、ロッティに手を差しのべて 横抱きにロッティを抱いて、後向きになる暴れるロッティ		
198	出口に向うミンチン先生 セーラ、ミンチン先生を制止しようとして声を掛ける 見送るセーラ、ピーター、アメリア		セーラ「院長先生！」 アメリア「お姉様～……」
199	アメリア、急いでミンチン先生の後を追う セーラのコート、地面に落ちる 後に続くピーター、コートを拾う 少し後を追って立ち止った セーラに		
200	コートをかけてやるピーター 茫然と見送るセーラ、ピーター		(泣き声だんだん遠去かる)

201	遊戯室の前のドア ロッティの泣き叫ぶ声が聞こえる		ロッティ(off)「ウワーーン、ウワーーン」
202	玄関ホールから遊戯室に向うセーラ		ロッティ(off)「ウエーーン、ウエーーン」
203	遊戯室　床に転がって泣くロッティ　傍に見おろすミンチン先生とアメリア		
204	ミンチン先生、いい加減うんざりして		ミンチン先生「ロッティ！……なんだってそんなに泣かなきゃいけないんです！」
205	床でバタつくロッティ		ロッティ「（泣き声で）だって……だってェ…… ……
206	ドア、外で聞くセーラ		(off) 私……ママがいないんだもン……」
207	セーラ、凝っと聞き入る　T・U		ロッティ「ママがいないんだもン……ママがいないんだもン……」
208	ロッティを見つめるアメリア、ミンチン先生		アメリア「ロッティ〜、泣くのはやめて……

209	哀願するように頼むアメリア		いい子だから泣かないでちょうだい…」
210	ダダをこねてバタバタ暴れるロッティ		ロッティ「私……いい子じゃないもン……ママがいないもン……」
211	ミンチン先生、ほとほと手を焼いて		ミンチン先生「全く手がつけられない子ね、アメリア」
212	バタついて泣くロッティ		ミンチン先生(off)「こう云う子は、鞭を与えなければ……」 アメリア(off)「でも、お姉様……」
213	ミンチン先生出て行く		ミンチン先生「そう……じゃ、あなたが責任を持ってしつけなさい」 アメリア「お姉様……」
214	廊下　出て来たミンチン先生 声をかけるセーラ、ふと立ち停る　セーラに気付く		S・E（ガチャ） セーラ「院長先生……」 ミンチン先生「なにをしているのです、こんな所で……」
215	セーラ、ミンチン先生に真剣に言う		セーラ「私……ロッティとお話してみたいんです」

216	驚くミンチン先生		ミンチン先生「なんですって？」 セーラ「私……」
217	セーラ、ミンチン先生に本心を言う ミンチン先生あきれて		(off)（ロッティの泣き声） セーラ「ロッティのお友達になってあげたいんです」 ミンチン先生「まあ……あんな判らず屋の泣き虫のかんしゃく持ちの……」
218	ミンチン先生、投げ槍りの態度で話す		
219	セーラ、ミンチン先生を正視して		(off) それから……」 セーラ「お許し頂けるでしょうか」
220A	ミンチン先生、ため息を吐いて皮肉たっぷりに言い聞かして		ミンチン先生「フッ……ま、それが出来るならね……あなたはお利巧さんだから〜出来るかも知れなくてよ」
220B	立ち去るミンチン先生　見送るセーラ		
221	泣き喚くロッティ		ロッティ「うわーん」
222	困惑するアメリア		

223	アメリア、ロッティの腕をとろうとするが、ふり払われる		アメリア「ロッティ……もう泣くのはやめて……〜〜〜
224	ドアから入ってくるセーラ		(off) 私を困らせないでちょうだい……お願いよ」 S・E（ガチャ） S・E（バタン）
225	アメリア、抱き上げようとしてアゴを蹴っとばされる		アメリア「ねッロッティ、泣くのは……ウッ！」
226	アメリア、身を引きあごを押えて、流石のアメリアも手をあげようとする		アメリア「……いいかげんに泣きやめなさい！」
227	チラリと見て……		ロッティ「……わーんわーん……先生がいじめるよーッわーん……」
228	アメリア、がっくりして床に手をつき、大きく溜息をつく 哀願調に言う　セーラFr・in		アメリア「ロッティ……〜 もうかんべんしてちょうだいよ……」
229	T・U　後ろに人の気配に気付		

	き振り返るアメリア	セーラ(off)「アメリア先生」 アメリア「セーラさん！」
230	セーラ、事情をアメリアに話す	セーラ　（泣くロッティ） 「あの、……院長先生が私にロッティをなだめてもいいっておっしゃったんですが……」
231	アメリアびっくりして立ち上り セーラに顔よせて、囁くように セーラ、小声で言う	アメリア「まあ…… あなたに出来る?!」 セーラ　「出来るかどうか…… 〜 でも、精一杯やってみます」
232	セーラの真剣な表情 アメリア、ほっとして 振り返って アメリア、セーラを再び見て肩に手をやり出て行く	アメリア「そう…… こんな事初めてよ、いくら言っても判らないんだから…… じゃぁお願いするわね」
233	ドアに向うアメリア　見送るセーラ、視線をロッティに戻す	
234	しゃくりあげながら上半身を起こして様子をうかがっていたロ	ロッティ「ヒック……ヒック……」

	ッティ 再び大声で泣き出す		「うわーんうわーん」
235	泣き続けるロッティの傍に歩いて行き、立ち止るセーラ		ロッティ「うわーん」
236	セーラをチラッと見て、足と手をバタバタするロッティ		
237	前へ出ようとするセーラ「はっ」となって立ち止る		
238	ゴロンと転って一回転して、セーラの足許へ来るロッティ なだめようとして懸命に隙を狙うセーラ		
239	手足をバタつかせて泣くロッティ		
240	見下すセーラ		
241	上半身起き上がり、泣くロッティ しゃがむセーラ、声をかけよう		

	242	243	244	245
とする、その瞬間にロッティが 動く―― 手を出そうとする 暴れるロッティ 手を引くセー ラ 無表情なセーラ 身をよじり激しく泣くロッティ セーラの膝あたりにひっくり返 るが、スルリとよけるセーラ、 大きく溜息をつく	一層激しく泣きわめくロッティ	頬杖をついてー困った顔で見つ めるセーラ	ロッティ、セーラが相手にしな いので起き上り又、泣きはじめる のぞき込むセーラ 手足を振りまわして暴れるロッ ティ セーラ、うまく避ける バランスを崩してあおむけに、 ひっくりかえるロッティ	床にゴトンと音をたてて、頭を
セーラ 「はあー」				

No.	画面		音
	うつロッティ泣き出す		ロッティ「痛いよォ〜うわーん…… 痛いよォー
246	あきらめ、立ち上るセーラ		(off) うわーん……」
	A・C		
247	激しく泣くロッティ		
248	窓の方を見るセーラ		
249	窓外の裏の景色		
250	あばれ泣くロッティ		
251	暴れて泣くロッティ 外を見ているセーラ		S・E (汽笛の音)
252	裏の窓の間を通過していく気車 汽笛の音が遠くに聞える		S・E (ポ———〜ッ)
253	ロッティ、右手で涙を拭いながら左手で床を叩く 一度顔から手をはずすが又、両手で涙を拭う　シャクリ上げる 泣くのが弱くなってくる		ロッティ「ヒック、ヒック」

	涙を拭う手の間からのぞく	
254	ヒクヒクしながら起き上るロッティ　外を見続けるセーラ	
255	ヒクヒクしながらセーラを見つめているロッティ 再び泣き出す	ロッティ「ウワーン、ウワーン、ママがいないんだァー、ワーンワーン」
256	「はっ」となりロッティを見るセーラ	
257	ロッティの横に座り、凝っと見つめるセーラ セーラの方を見る ぼうぜんとするロッティ セーラ、深く頷いて見せる セーラ、優しく頷く セーラ、想い出すように	セーラ「私もママがいないの」 ロッティ「ほ、ほんと？」 ロッティ「ほんとに……セーラにも、ママがいないの？」 セーラ「そうよ……私が四つの時、天国へいらしたのよ」

258	凝っとセーラを見つめるロッティ セーラ頷いて		ロッティ「天国に?!」 セーラ　「天国で私を凝っと見守って下さってるの……だから、私の事はなんでも知ってて下さるのよ」
259	セーラ、ロッティを優しく見つめて		
260	ロッティ、可愛らしくセーラにたずねて、優しく答えるセーラ		ロッティ「私のママは?」 セーラ　「あなたのママも同じよ……天国でずっとあなたの事を見守っていて下さってるわ」 ロッティ「セーラ、ママの事憶えているの?」
261	セーラとロッティ		
262	起き直るロッティ　セーラ、微笑んで答える ロッティ、セーラを見上げて セーラ、思い出すようにして言う 顔をロッティに戻し		セーラ　「ええ、沢山……」 ロッティ「どんなママだったの?」 セーラ　「優しくて、素晴しいママだったわ……そうだわ、私の部屋へ来れば、逢わせてあげられるわ」
263	顔、輝かせるロッティ		ロッティ「うれしい」
264A	立ち上ったセーラ、ロッティにハンカチをさし出す		

264B	265	268	269
ロッティ、涙を拭いて はじめて笑顔を見せる	表の廊下　聞き耳をたてていた ミンチン先生とアメリア 気配にかくれる 気づかずに階段口に向うセーラ とロッティ 二人を見送るミンチン先生とア メリア　茫然と顔見合わせる 二人の足許からシーザーが、の っそりとセーラたちのあとを尾 けて行く	二階の廊下　集ってヒソヒソ話 しているラヴィニアたち 階段を駆け上ってくるガートル ート　ラヴィニアたち、各部屋 に走り込む ロッティの手を曳いて三階に向 うセーラ　その後からシーザー	各部屋のドアが開き、一斉にセ
セーラ(off)「一緒に行きましょう」 ロッティ「うん」		ガートルート「シッ、来るわよ！」	

	ーラを見送る		
270	三階へ上って来る二人、部屋に 向う　後からシーザー		
271	セーラの居間へ 驚きの眼で見廻しながら、入る ロッティ		セーラ「さ、ここよ…… どうぞお入り下さい……」 ロッティ「わァ！ ～
273	続いて入ろうとするシーザーの 鼻先にドア、ピシャリ ドアをひっかく		ⓞff　すごーいお部屋！」 S・E（バタン） シーザー「うぎゃあー！」
274	セーラの部屋の中 サイドテーブルの上の両親の写 真に手がのびてとり上げる		
275	キョロキョロ部屋を見廻してい たロッティ、寝室への出入口を 見る		
276	寝室から写真を持って来るセーラ		

	ロッティに写真をさし出す		セーラ　「ほうら、私のママよ」
277	ロッティ、写真を受け取って眺める 熱心にみつめるロッティ		
279	セーラ、微笑をもって見ていたが「オヤ?」となる		
280	次第にベソをかきはじめるロッティ		ロッティ「クスンクスン」
281	セーラ、ロッティにたずねて		セーラ　「どうしたの、ロッティ?」
282	だんだん悲しくなって来るロッティ		ロッティ「だって……だって……私、ママを憶えてないもん」
283	「はっ!」と胸をつかれるセーラ		ロッティ(off)「写真だってないもん……」
284	セーラの手、Fr・inしてロッティの手から写真をとりあげる Fr・out		

285	セーラ、椅子に腰かけてロッティと向い合う		
286	上目づかいに、セーラを見上げるロッティ		
287	セーラ、しばらく考えてから微笑んで言う		セーラ「じゃ、ロッティ、こうしましょう…〜 あのね……この学校にいる間は〜
289	凝っと見つめるロッティ		
290	セーラ、優しく語りかける 身を乗り出すロッティ		(off) 私がロッティのママになってあげるの」
291	ロッティ、半信半疑でセーラに聞き返す		ロッティ「セーラが、私のママになってくれるの？」
292	ロッティ、うれしそうに セーラ、微笑んで深く頷く		セーラ「そうよ」 ロッティ(off)「ほんとに？」
293	ロッティ、椅子を飛び降りて、 セーラにしがみつくロッティ		ロッティ「わァ、うれしい！」

294	ロッティを抱き上げクルクル回転するセーラ		
295	つけPAN　揺れる髪　回転する二人 回転する二人 人形を見つけたロッティ		ロッティ「あっ！　お人形！」
298	エミリー人形がある		
299	セーラ、ロッティに紹介する ロッティたずねる		セーラ　「エミリーよ……私、エミリーのママでもあるの」 ロッティ「え、このお人形のママなの？」
300	セーラ、頷いて　ロッティ、セーラ時々お互の顔を見ながら… セーラ、ロッティをおろす		セーラ　「そうよ……だから、ロッティはエミリーのお姉さんになったのよ」 ロッティ「わァ、お姉さんだ……ね、抱いてあげてもいい？」 セーラ　「ええもちろん……エミリーも喜ぶわよ……」
301	足もとからおりてくるエミリー セーラ、腹話術を使って		セーラ(off)「私、エミリーよ、よろしくね」

302	セーラ、ロッティにエミリーを渡す		セーラ「ロッティお姉ちゃま……」 ロッティ「わァ、可愛い……」
303	抱きしめるロッティ		ロッティ「フフ……」
304	微笑むセーラ		ボナパルト(off)「セーラ」
310	叫ぶボナパルト O・L		ボナパルト「セーラ……セーラ……」
311	夜のミンチン塾		
312	セーラの寝室 ベッドに掛けたロッティの髪をとかしてやるセーラ		
313	セーラ、ロッティの髪を解いてやって、やさしく語りかける		セーラ「さ、今夜はママが一緒に寝てあげますからね、でも明日からはちゃんと一人でお寝みするのよ」
314	いい子になったロッティ		ロッティ「うん、ママ……私、もう泣いたりしないもん……」
315	微笑むセーラ		ロッティ(off)「セーラ、ママがいるもん」

	―O・L―		セーラ「そうね、ロッティ」
316	ベッドで眠っているロッティとエミリー		セーラのN「ロッティはとても素直な、〜いい子です、でも私に四つになる女の子が出来たと聞いたら、きっとお父様はびっくりなさるでしょう……それとも、吹き出しておしまいになるかしら……」
317	微笑んで見ているセーラ 振り返り写真を見る		
318	セーラ、一家の写真		
319	振り返ってロッティの方を見守るセーラ　T・U F・O		

＜おわり＞